学校番号	309

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	リンク数学演習Ⅰ＋A(a+b+c)　受験編 解答編　(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

問題演習を中心とした授業をする。生徒の理解度により解説をし、クラスにあった指導をする。

2　学習の到達目標

・教材(数学Ⅰ、数学A)の例・例題の基本的な内容を定着させる。
・基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	問題演習を通して、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	問題演習を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。	問題演習を通して、事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	数学Ⅰ・A における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などの理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	・授業に対する取り組みや態度	・定期考査やノート提出	・定期考査や問題演習	定期考査やノート提出や問題演習

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	数学Ⅰ	数と式	○	○		○	a:式の計算や不等式などに関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。 b：数式を考察し、集合と論証の思考の過程を考察し、数学的な見方や考え方を身につけている。 d：式の展開や因数分解、集合の性質について理解し、知識を身につけている。	
		2 次関数	○	○		○	a:２次関数に関数をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。 b:２次関数を用いて事象を考察し、数学的な見方や考え方を身につけている。 ｄ：２次関数に関する基本的な概念を身につけている。	
2	数学Ⅰ	図形と軽量	○		○	○	a:三角比に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象に活用しようとしている。 c:三角比を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 d:三角比に関する基本的な概念を理解し、知識として身につけている。	
		データの分析	○		○	○	a:データの分析に関心をもつとともに、いろいろな手法を認識し、考察に活用しようとしている。 c：データの分布の特徴をいろいろな方法で表現・処理する技能を身につけている。 d:データの分析に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけている。	

	数学A	場合の数と確立	○		○	○	a:順列・組合わせと確率に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。 c:事象を順列・組合わせや確率を用いて表現・処理する技能を身につけている。 d:順列・組合せや確率に関する基本的な概念を理解し、知識を身につけている。	
3	数学A	図形の性質	○		○	○	a:図形の性質に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。 b:：事象を図形の性質を用いて考察したり、その過程を振り返ったりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身につけている。 ｄ：図形の性質に関する基本的な概念・定理を理解し、知識を身につけている。	
		整数の性質	○		○	○	a:整数の性質に関心をもつとともに、それらの有用性を認識し、事象の考察に活用しようとしている。 ｃ：整数の性質を用いて事象を表現・処理する技能を身につけている。 ｄ：整数の性質に関する基本的概念を理解し、知識を身につけている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。